

みき歴史資料館 基本計画

三木市教育委員会
教育企画部文化スポーツ振興課

平成28年3月

目次

I はじめに

- 1 整備の背景と経緯
- 2 コンセプト
- 3 基本方針
- 4 資料館周辺図
- 5 開館までのスケジュール

II 事業活動計画

- 1 時空(とき)の拠点
- 2 まちおこしの拠点
- 3 情報発信の拠点

III 施設計画

- 1 施設概要
- 2 施設詳細

IV 管理運営計画

- 1 管理運営方式と体制
- 2 職員構成
- 3 関係組織
- 4 開館形態
- 5 利用者サービス

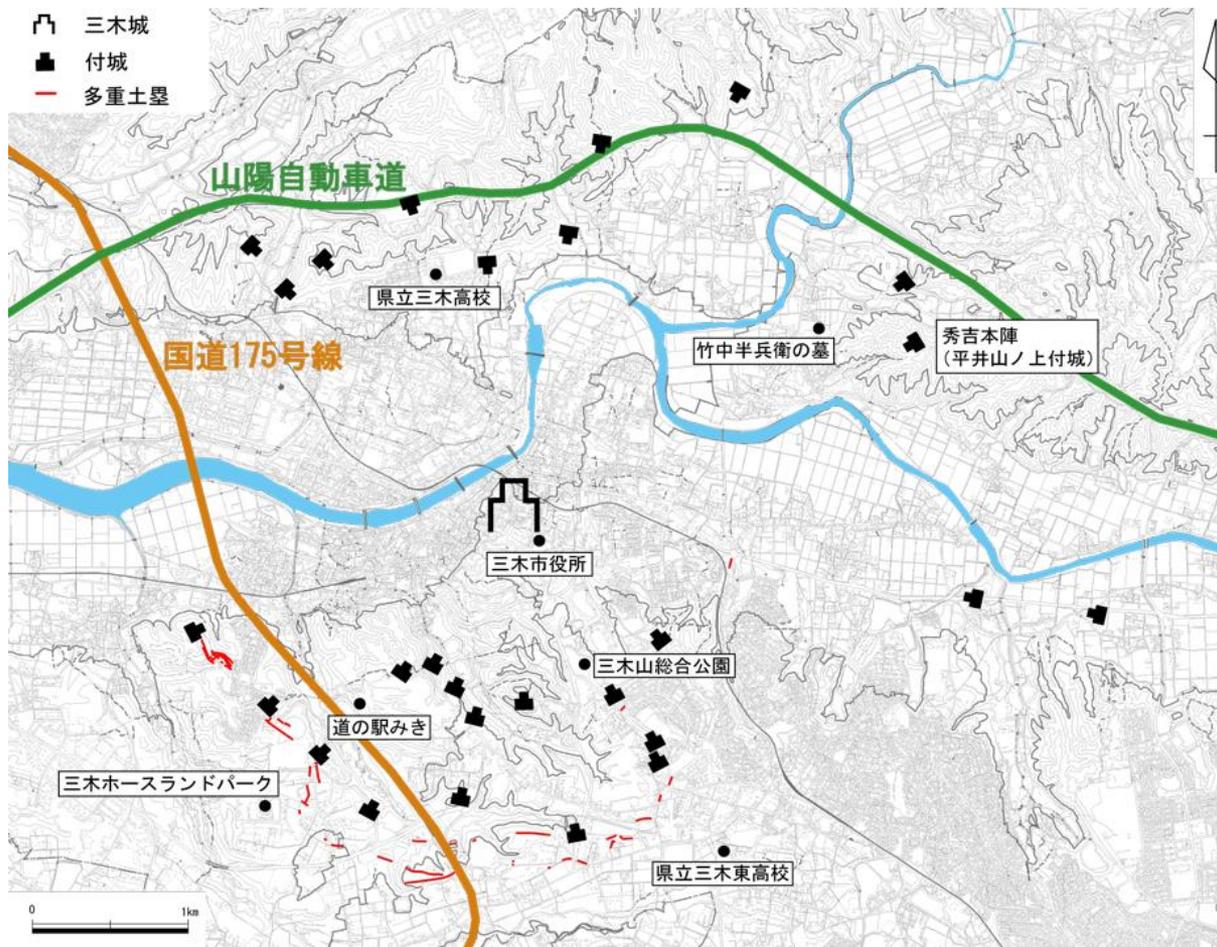
I はじめに

1 整備の背景と経緯

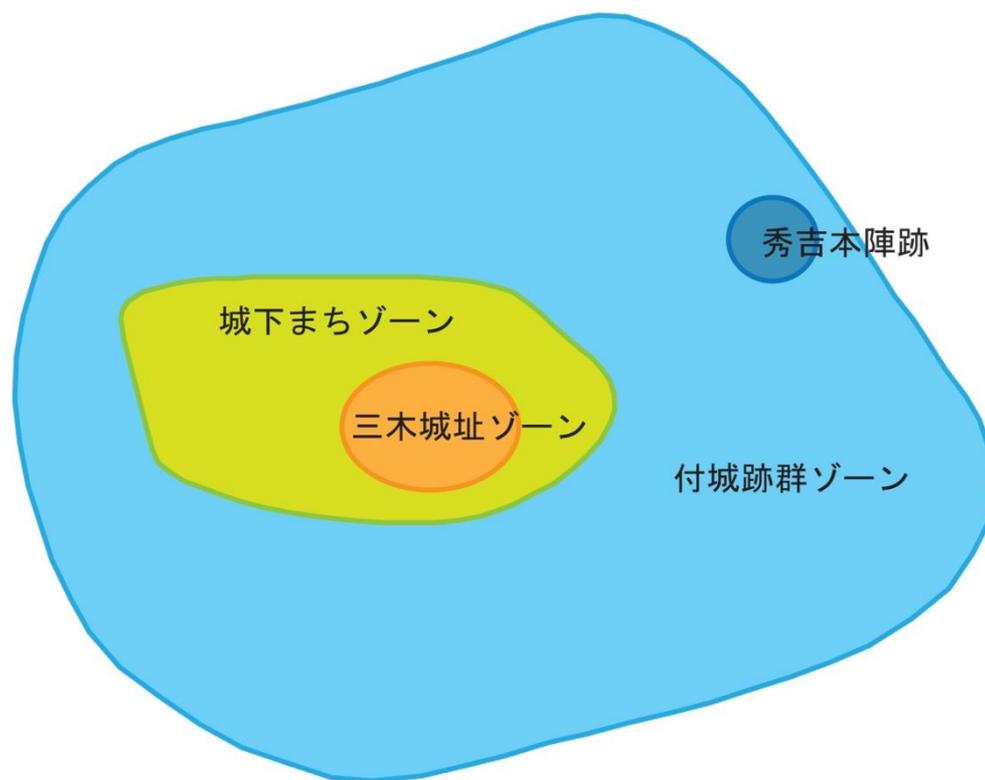
三木市は、今から約430年前(1578年～1580年)、織田信長の命を受けた羽柴秀吉と戦国大名毛利輝元に与した三木城主別所長治との間で起こった「三木合戦」の舞台となった。

市内には、三木城跡のほか、織田方が三木城を攻めるために築いた付城跡群が数多く残っている。これら遺跡群は平成25年3月、「三木城跡及び付城跡・土塁」として国史跡に指定された。

そして、史跡指定と前後するかたちで、これらの遺跡群を活かしたまちづくりを推進するため、平成24年6月、「三木歴史・美術の杜構想」を策定した。



その中で、三木城跡や城下町を含む付城跡群で囲まれた区域全体をフィールドミュージアムに見立てる「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」の中核施設として、「みき歴史資料館」を整備する。



2 コンセプト

コンセプトを「時空(とき)の拠点」「まちおこしの拠点」「情報発信の拠点」として整備します。

時空(とき)の拠点

- 歴史資料の散逸を防ぐ
- 調査研究の成果を公開

常設展: 三木の原始古代から現代までの歴史資料を紹介

企画展: 史跡(三木合戦)、近世・近現代の三木、遺跡の発掘調査成果、地域の歴史紹介

共催テーマ展: 金物資料館、美術館、登録文化財と連携した展示

まちおこしの拠点

- 「歴史・美術の杜みゅーじあむ」のインフォメーション施設
- 史跡や登録文化財と連携した商店街の振興などまちの賑わいづくり
- 憩いの場の創設

駐車場を利用したイベントを定期的に開催
野外演劇 伝統芸能(獅子舞)、金物資料館、美術館、登録文化財と連携した催し

市民活動コーナー

まちおこしのための企画会議、市内歴史関係団体の生涯学習をサポート

情報発信の拠点

- 三木の歴史や文化をアピールし、リピーターを拡大
- 資料を媒体とした市内外の人々の交流
- 市民参画(ボランティア)の活動

資料館まつり: 文化財をテーマに文化芸術作品を募集、展示

体験教室: 甲冑の着付け、染形紙づくり、三木金物を使った工作、伝統産業の鍛冶体験

歴史講座: 企画展などと連動した講演など

観光案内コーナー: 三木の紹介パンフレットの配布や観光グッズの販売など

連携

地域外博物館・資料館、金物資料館、美術館、中央図書館、市史編さん室、別所ふるさと交流館、観光協会 国史跡・登録文化財 など

資料館ボランティア、ガイドボランティア、甲冑倶楽部、演劇セミナー、茶道協会、休憩しま所、獅子舞保存会、伝統工芸士会、染形紙の保存と活用を考える会 など

効果

H28.5 オープン予定

歴史資料を活用し、三木の歴史を情報発信することにより、地域社会にとってより大きな価値を継続的に提供し、人と人との交流や郷土愛の醸成、まちの賑わい、まちの活性化を図ります。

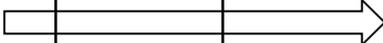
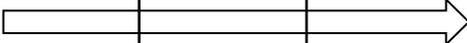
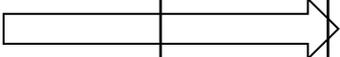
3 基本方針

- 三木城二の丸跡に位置する三木市立図書館が、平成27年7月に移転したことに伴い、その施設を「みき歴史資料館」として活用し、美術館や金物資料館と一体的な利用をすることにより、三木市の歴史や文化を発信する。
- 「みき歴史美術の杜みゅーじあむ」のインフォメーション施設としての機能を果たし、史跡や登録文化財(旧玉置家・旧小河家別邸)、観光協会や道の駅等と連携したまちの賑わいづくりを担う。
- 開館は平成28年5月とする。
- 年間入館者数2万人を目指す。

4 資料館周辺図



5 開館までのスケジュール

	10	11	12	H28. 1	2	3	4	5
改修設計								
改修								
開館準備								開館

Ⅱ 事業活動計画

三木の歴史及び文化遺産を情報発信し、市の文化及び教育の振興に寄与するとともに、歴史資料を媒体とした人と人との交流や郷土愛の醸成、まちの賑わい、まちの活性化を図る。

1 時空(とき)の拠点

実物資料を主体とする展示とし、定期的に企画展等を開催することにより、繰り返して訪れてもらえるように努める。

常設展は、三木の原始古代から現代までの歴史資料を紹介し、遺跡からの出土遺物や古文書等約300点を展示する。

企画展は、年間5・6回開催する。史跡(三木合戦)、近世・近現代の三木、遺跡や発掘調査、地域の歴史紹介等を取り上げる。

その他、共催展として、金物資料館、堀光美術館等と連携した展示を実施する。

(1) 常設展の概要

① 展示の構成

三木の あけぼの

三木市内で最初に人の生活が確認できる旧石器時代から弥生時代について、紹介する。

- ・ナイフ形石器
- ・小銅鐸

古墳時代の 三木

市内の古墳や播磨国風土記等に記載されるオケ・ヲケ伝説などを紹介する。

- ・埴輪
- ・装飾具

古代・中世 の三木

仏教が伝来し、仏教文化が開いた。平安期に瓦生産地として栄えたことなどを紹介する。

- ・瓦塔・埴仏
- ・瓦
- ・細川荘(冷泉家)

三木城の 時代

三木城主別所長治と羽柴秀吉との合戦(三木合戦)について、紹介する。

- ・史跡三木城跡及び付城跡・土塁

近世の 三木

三木城が廃城し、在郷町として発展した近世の三木について、紹介する。

- ・三木市有宝蔵文書
- ・三木金物
- ・染形紙

近現代の 三木

明治時代以降の三木に関する生活や文化について紹介する。

- ・古写真
- ・玉置家文書
- ・三木飛行場跡
- ・行政文書

② 展示の概要

テーマ	時代	主な展示資料	主な遺跡名
①三木のあけぼの	旧石器～弥生	ナイフ形石器・サヌカイト原石・サヌカイト剥片・石包丁・石鏃・弥生土器・小銅鐸・管玉・石斧・壺棺	与呂木宮ノ元遺跡・久留美丈ノ越遺跡・高篠谷ノ郷遺跡・吉田南遺跡・与呂木大畑遺跡・細川女谷遺跡・戸田遺跡・西這田口山遺跡



ナイフ形石器



サヌカイト原石



小銅鐸



弥生土器

テーマ	時代	主な展示資料	主な遺跡名
②古墳時代の三木	古墳	須恵器・土師器・装飾具・鉄器・埴輪・石枕	高木古墳群・久留美丈ノ越古墳・久留美上野ノ下古墳・窟屋扇ノ坂古墳・正法寺古墳群・実楽1号墳・野々池7号墳・与呂木古墳



須恵器



装飾具



円筒埴輪

テーマ	時代	主な展示資料	主な遺跡名
③古代・中世の三木	飛鳥～室町	須恵器・墨書土器・瓦塔・埴仏・磁器・地鎮祭祀遺物・軒瓦・五輪泥塔	志染中遺跡・小和田神社遺跡・宿原5号窯・久留美遺跡・高男寺廃寺遺跡・法光寺五輪塔



埴仏



軒瓦

テーマ	時代	主な展示資料	主な遺跡名
④三木城の時代	戦国	三木合戦軍図(複製)・三木合戦ジオラマ・備前焼大甕・瓦・土師器・陶磁器・動物の骨・鉄砲玉	史跡三木城跡及び付城跡・土塁



備前焼大甕



軒丸瓦



動物の骨

テーマ	時代	主な展示資料	所属先等
⑤近世の三木	江戸	三木市有宝蔵文書・絵 図・三木金物・染形紙	本要寺宝蔵・旧玉置家住宅



染形紙

テーマ	時代	主な展示資料	所属先等
⑥近現代の三木	明治～平成	古写真・玉置家文書・三木飛行場の遺品・行政文書	旧玉置家住宅



一〇〇式司令部
偵察機タイヤ



軍民境界石杭

(2) 調査研究事業

歴史資料等の散逸や滅失を防ぎ管理、保存するとともに、調査研究の成果を公開することにより、市民の「文化遺産」として未来に継承する。

①歴史資料の散逸を防ぐ

市史編さん室・自治会・市内歴史関係団体と連携し、市内10地区の歴史資料を掘り起こす。

②調査研究の成果を公開

今後行われる市内遺跡の発掘調査やこれまでに行った発掘調査の整理作業を継続して行う。

特に未整理となっている調査については、報告書を刊行する。

③市史編さん事業との連携

現在、進行している市史編さん事業と連携し、調査協力や、研究成果の共有を図る。

④研究成果の発信

調査研究により得られた成果は、随時発信・公開するとともに、定期的に展示や報告会、刊行物等により還元していくものとする。

発掘調査現地公開



2 まちおこしの拠点

市街地を活性化するため、みき歴史・美術の杜 みゅーじあむのインフォメーション施設として、東は秀吉本陣跡・グリーンピア三木、西は法界寺山ノ上付城跡・道の駅・ホースランドパーク・別所ゆめ街道と連携し、市内外の方々が気軽に訪れることができるまちおこしの拠点として整備する。

(1) 歴史・美術の杜みゅーじあむのインフォメーション施設

①みき歴史・美術の杜みゅーじあむの中核施設として、フィールドミュージアムである三木城跡ゾーン・城下まちゾーン・付城跡ゾーンを分かりやすく案内する。

②レンタサイクルを利用した周辺施設等の巡回コースを作る。

(2) 史跡や登録文化財、道の駅、ホースランドパーク、別所ゆめ街道と連携した商店街の振興等、まちの賑わいづくり

①野外演劇や伝統芸能(獅子舞)など駐車場利用したイベントを定期的に関催

②金物資料館、美術館等と連携した催し

(3) 憩いの場の創設

①市民活動コーナー

まちおこしのための企画会議・市内歴史関係団体の学習意欲を高め、郷土の歴史をより深く理解していただけるよう、生涯学習活動をサポートする。

②休憩室

三木城跡や美術館・金物資料館を訪れた方の休憩場所を設置する。

観光案内コーナーとして、市内観光地の紹介、パンフレットの配置、周辺文化財や観光協会、道の駅、別所ゆめ街道等と連携することにより、まちの駅機能の役割を担う。

(4) ボランティアとの連携

資料館の展示解説や体験教室の指導をするボランティアを組織する。

現在、埋蔵文化財展示室で活動している埋蔵文化財展示解説サポーターに呼びかけるとともに広く一般にも募集する。



3 情報発信の拠点

三木の歴史や文化をアピールし、リピーターの拡大を図るため、市内外の方々が気軽に訪れることができるイベントを開催するとともに、観光案内コーナーを設置する。資料館の活動に市民が積極的に関われる仕組みを作る。

(1) 三木の歴史や文化をアピール

① 資料館まつり

文化財をテーマに文化芸術作品を募集、展示

② 観光案内コーナー

観光協会等と連携し、市内観光地の紹介やグッズ販売を行う。

③ ボランティアが常駐し、観光案内や三木市を紹介する。

(2) 資料を媒体とした市内外の方々の交流

① 体験教室

地域の自然や歴史等に触れ、昔の人の知恵や生活などを体験する機会の充実を図ることを目的に開催。

- ・甲冑着付け、染形紙づくり、金物を使った工作、伝統産業の鍛冶体験等

② 歴史講座

三木の歴史や文化財を理解するための場と機会の充実を図ることを目的に開催。企画展ごとにテーマに合わせ実施する。

③ 歴史ウォーク

市内の旧所名跡を散策することによって、三木の歴史や文化財の理解を深めることを目的に開催する。

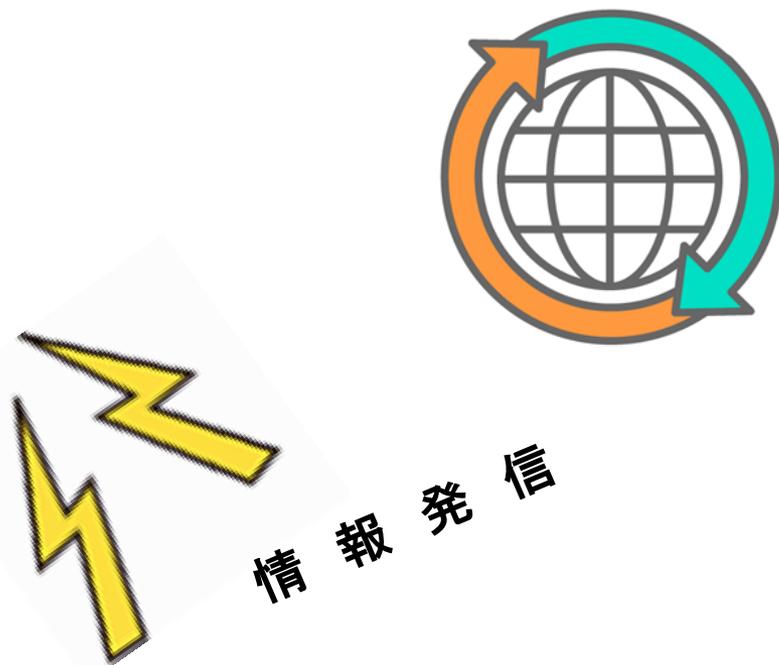
④ 学校教育との連携

市内外の学校と連携し、広く活用してもらえるようにする。

- ・社会見学の受入れ、出前講座の実施、大学と連携した博物館実習の受入れ

Ⅲ 施設計画

三木市立図書館跡を再利用し、周辺施設と連携して、「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」の中核施設として、三木の歴史、文化の情報を全国に発信する。



1 施設概要

概要	
(1) 主要用途	資料館
(2) 住所	三木市上の丸町4番5号
(3) 敷地状況	史跡
(4) 構造	鉄筋コンクリート(RC)造り 地上3階
(5) 延床面積	1,903m ²
(6) 建築年	昭和57年

2 施設詳細

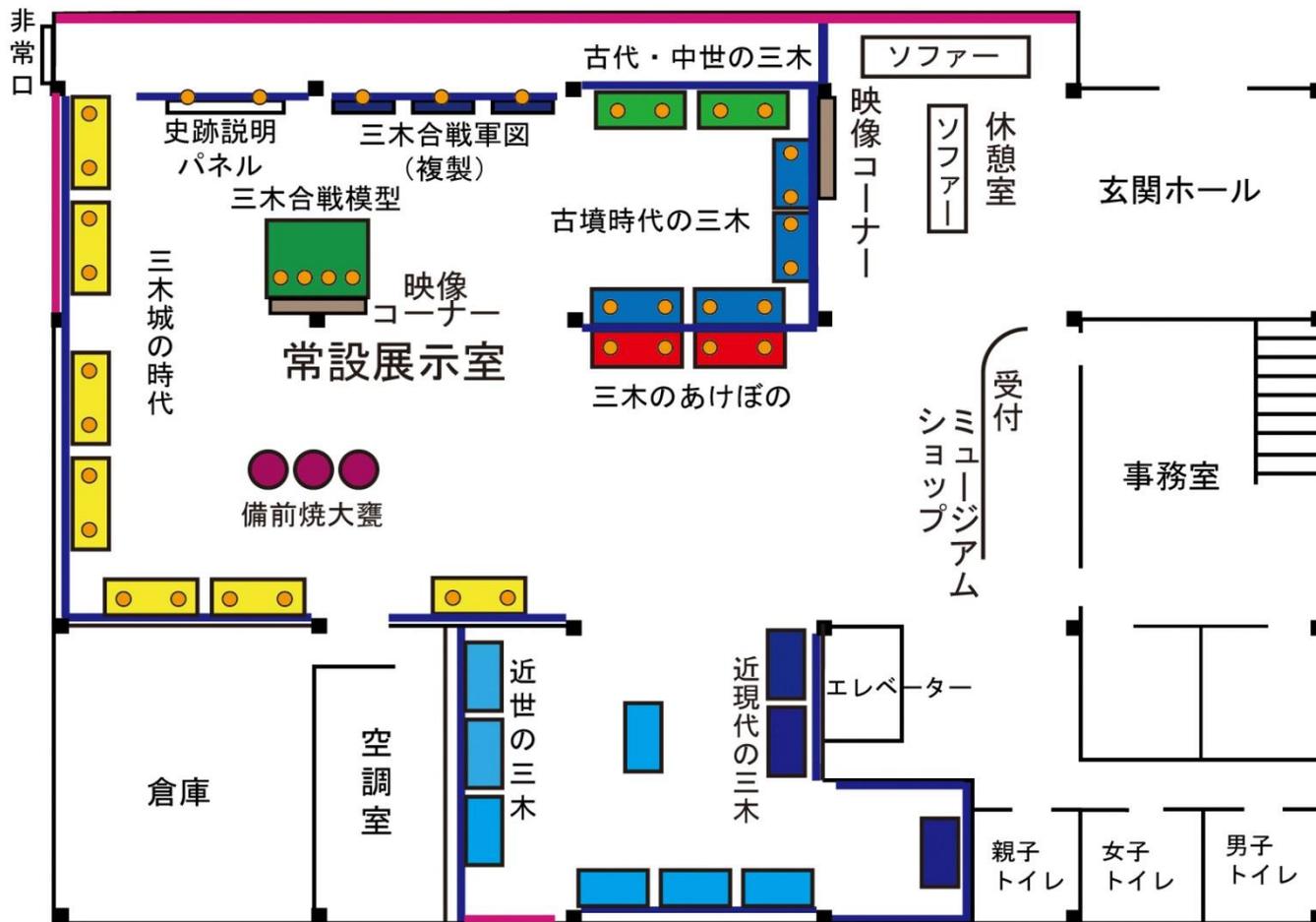
(1) 1階

常設展示室を設ける。玄関西側に休憩室を設け、観光案内スペースを兼ねる。事務室は図書館の事務室を引き継ぐ。

階数	室名	各室規模(m ²)	概要	主な設備と備品
1階	常設展示室	約430	保存環境に配慮した展示空間とする。	展示ケース、各種展示装置(ジオラマ等)
	休憩室	約55	見学者が休憩できるスペースとする。	椅子
	事務室・応接室	約64	職員が常駐し、業務を行う。	机・椅子・書架
	倉庫	約52	展示備品を収蔵する。	収納棚

1階

- 展示壁面パネル
- 遮光カーテン
- 展示ケース
- 照明（アームスポット）

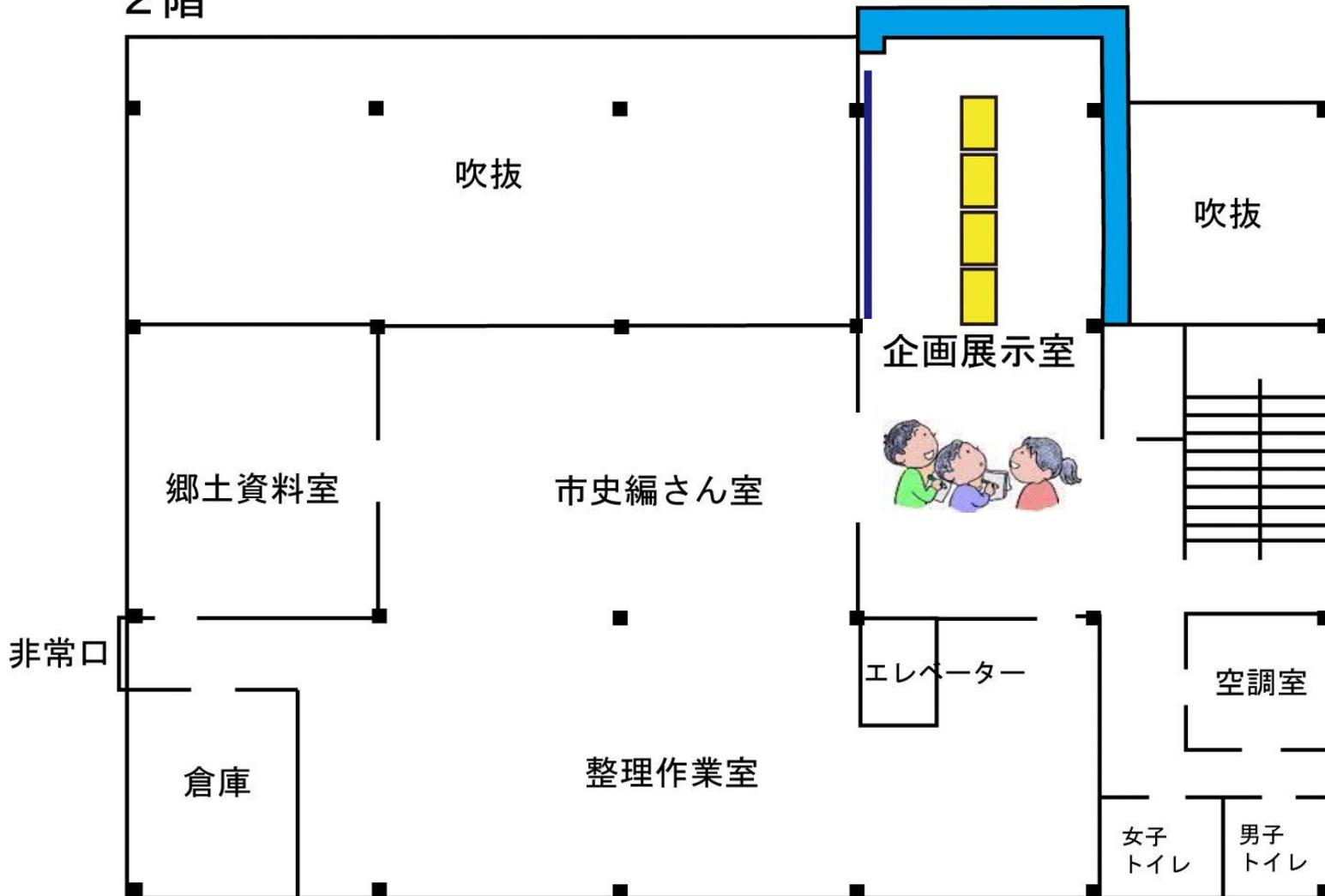


(2) 2階

既存の展示コーナーを企画展示室とし、企画展のスペースとする。閲覧室の北半分は市史編さん室、南半分は埋文整理作業室とする。郷土資料室は、一部資料を引き継ぎ存続する。

階数	室名	各室規模(m ²)	概要	主な設備と備品
2階	企画展示室	約130	企画展示等を行う。	展示ケース
	市史編さん室	約100	市史編さんに関する事務、調査研究を行う。	書架、机、椅子
	埋蔵文化財整理作業室	約160	埋蔵文化財の整理作業及び企画展の準備等の作業を行う。	書架、机、椅子
	郷土資料室	約60	郷土に関する図書・絵図・古文書等を収蔵する。	書架
	倉庫	約25	展示備品を収蔵する。	収納棚

2階

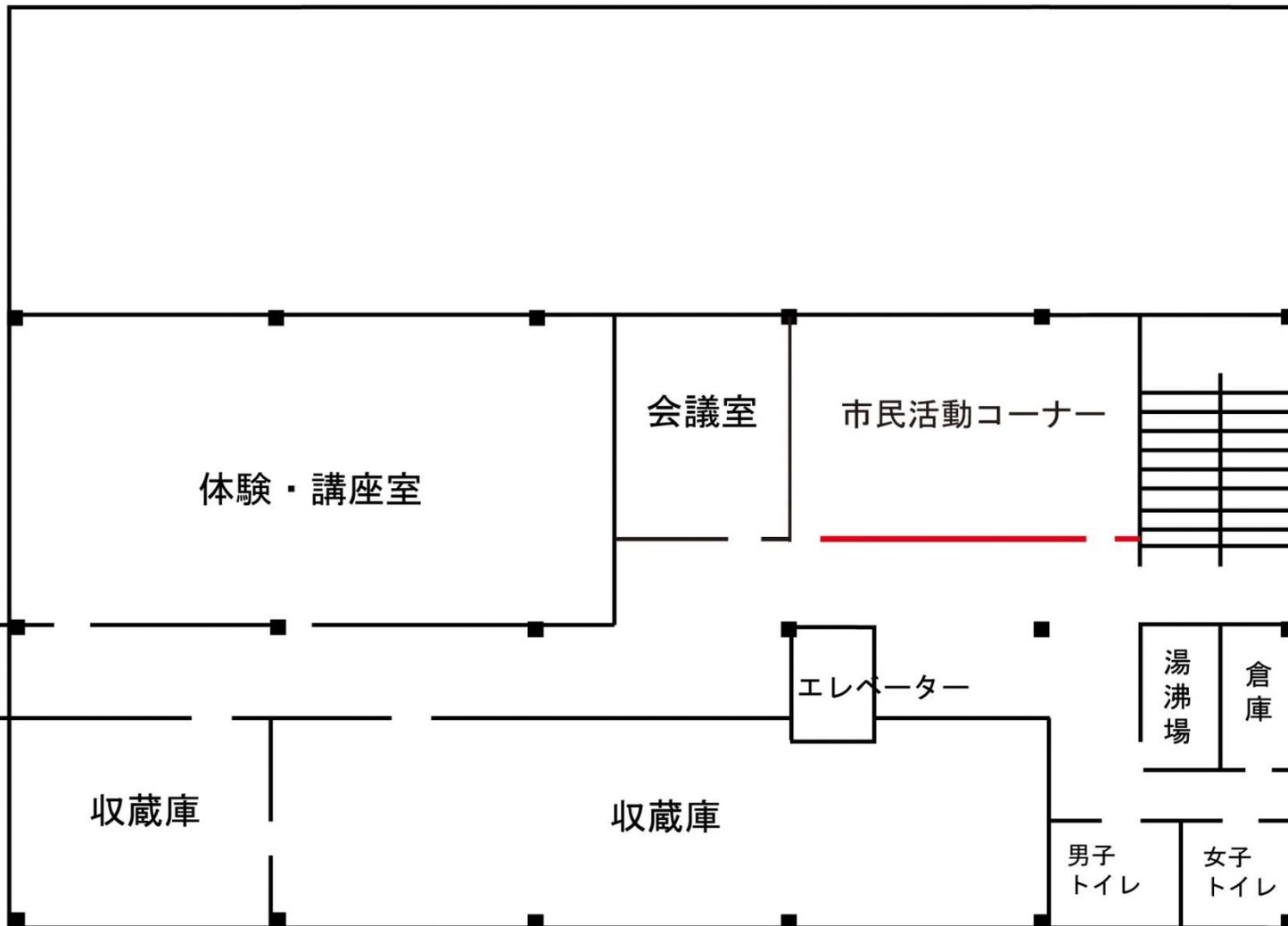


(3) 3階

体験・講座室は、視聴覚室をそのまま引き継ぐ。階段横のスペースに市民活動コーナーを設置する。収蔵庫は、美術館収蔵スペースとして、一部共用する。収蔵庫の電動書架は撤去する。

階数	室名	各室規模(m ²)	概要	主な設備と備品
3階	体験・講座室	約140	講演会、講座等の会場として利用する。	机・椅子・プロジェクター・スクリーン・ホワイトボード
	収蔵庫	約135	埋蔵文化財出土遺物・資料館展示資料等の収蔵場所とする。美術館資料の一部を収蔵する。	収納棚 ※電動書架を撤去する必要がある。
	市民活動コーナー	約50	郷土史を学ぶ市民やボランティアの活動の場として利用する。	机・椅子

3階



IV 管理運営計画

三木市の歴史に関する調査研究・資料の収集保管の拠点となるとともに、市民をはじめ多くの人々の利用・活動の場となるため、施設の業務を効率的かつ円滑に行い、計画的な管理運営を目指す。



1 管理運営方式と体制

(1) 運営方式

資料館の運営に当たっては、教育委員会が直営で行うこととする。

(2) 運営体制

資料館の業務は、資料館における展示業務のほか、教育委員会文化スポーツ振興課内の文化財に関する業務全般(調査研究・発掘調査・普及啓発・史跡整備等)を行うこととする。

そのため、館長の下、学芸員資格を有する専門職員を配置するほか、事務職員として、市史編さんの担当職員を配置する。

2 職員構成

(1) 館長

学芸員としての専門性を活かし、資料館業務を統括する。

(2) 学芸員

三木市の原始・古代から近現代史に対応できる歴史学・考古学を専門とする学芸員資格を有する職員を配置する。企画展の企画立案・資料の収集保存・調査研究・各種講座の講師のほか、埋蔵文化財の発掘調査、文化財保護、史跡整備、各種イベントの開催等に関する業務を担当する。

(3) 事務職員

市史編さん業務に従事するかたわら、施設の維持管理等を担当する。

(4) アルバイト

受付・庶務・経理のほか、まちの駅機能、ボランティア支援、企画展の準備補助等を行う。

3 関係組織

資料館の充実した運営と本市の文化財保護の発展を図るため、資料館協議会を設置する。

また、必要に応じ、三木市文化財保護審議会から助言・意見をいただくこととする。

みき歴史資料館



4 開館形態

(1) 開館時間 9:00～17:00
(入館は16:30まで)

(2) 休館日

- ・月曜日(月曜日が祝日の場合は、開館します。)
- ・祝日の翌日(祝日の翌日が土曜日・日曜日の場合は、開館します。)
- ・年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)

(3) 入館料 無料(企画展などは有料)

5 利用者サービス

(1) 利用案内

- ① 展示解説案内・資料相談・問い合わせ等について、必要に応じて対応
- ② 資料閲覧の希望について、職員立ち会いの上で実施
- ③ 団体への事前予約の受付対応
- ④ 館内貸し出し用車椅子の設置
- ⑤ AEDの設置

(2) 禁止制限事項

- ① 館内禁煙
- ② 展示室内での写真撮影の制限
- ③ 展示室内での飲食禁止
- ④ 展示室内での携帯電話の使用制限
- ⑤ 盲導犬・介助犬以外のペット同伴の制限